



放射線教育の授業を実施！

放射線教育とは、児童生徒が放射線に対する正しい知識・理解の下、主体的に判断し行動したり情報発信したりすることができる力を育てることを目的に実施されるものです。福島市では、「防災・放射線教育指導資料」を作成し、それを基に学級活動の時間を中心に実施することとしています。本校でも毎年外部講師を活用するなどして、放射線教育を実施しています。

今日は、中学年において、環境再生プラザの協力をいただき実施しました。3年生では、自然界に存在する放射線を可視化する霧箱による実験を通して、身近な放射線の存在を理解しました。4年生では、医療など生活で利用されている放射線の有効活用や、震災後の除染の様子を学習し、福島の現状について認識を深めました。



< 3年 >

教室に風船を放置し、風船に付いた放射線を霧箱で可視化し確認しました。



< 4年 >

表土除去した土を入れる袋を実際に触って、除染の方法を実感しました。

○ 明日、授業参観

多数の保護者の皆様の参観をお待ちしています。

すでに御案内していましたが、明日13:50より、授業参観を実施いたします。本日授業内容をお知らせするプリントを配付いたしました。1年生では、放射線教育を実施いたします。御来校をお待ちしています。